

古書（調査） 所蔵目録

- | | | | |
|-----|----------|---|------------|
| 番号 | 351 | 大日記（だいにっき） | JSFG00001 |
| 刊行者 | 兵部省海軍水路局 | 刊行年月 | m05.01 |
| 備考 | 資料館に1冊あり | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |
| 番号 | | 大日記（だいにっき） | JSFG00101 |
| 刊行者 | 兵部省海軍水路局 | 刊行年月 | m05.01 |
| 備考 | | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |
| 番号 | 592 | 相房 測量日誌（そうぼう そくりょうにっし） | JSFG00002 |
| 刊行者 | 海軍省水路寮 | 刊行年月 | m08.04 |
| 備考 | | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |
| 番号 | 96 | 各班出張測員往復留（かくはんしゅっちょうそくいんおうふくどめ） | JSFG00003 |
| 刊行者 | 水路部 | 刊行年月 | m23 |
| 備考 | | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |
| 番号 | 97 | 各班出張測員往復留（かくはんしゅっちょうそくいんおうふくどめ） | JSFG00004 |
| 刊行者 | 水路部 | 刊行年月 | m24 |
| 備考 | | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |
| 番号 | 44 | 測量訓辞及教令書類綴（そくりょうくんじ および きょうれいしよるいつづり） | JSFG00005 |
| 刊行者 | 水路部 | 刊行年月 | m31 |
| 備考 | | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |
| 番号 | 35 | 測量に関する意見並参考資料（そくりょうにかんするいけんならびにさんこうしりょう） | JSFG00008 |
| 刊行者 | 水路部 | 刊行年月 | t13 |
| 備考 | | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |
| 番号 | 176 | 艦主測量に対する意見（かんしゅそくりょうにたいするいけん） | JSFG00009 |
| 刊行者 | 水路部 | 刊行年月 | s06 |
| 備考 | | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |
| 番号 | 173 | 三崎水深検測海面並音響測深儀実験関係書類綴（みさきすいしんけんそくかいめんならびにおんきょうそくしんぎじっけんかんけいしよるいつづり） | JSFG00010 |
| 刊行者 | 水路部 | 刊行年月 | s06 |
| 備考 | | 所蔵者 | 海上保安庁海洋情報部 |

番号	183	運送艦行動予定 (うんそうかんこうどうよてい)	JSFG00011
刊行者	水路部	刊行年月	s10
備考	s08~s10	所蔵者	海上保安庁海洋情報部
番号	357	地球磁気観測法 (ちきゅうじきかんそくほう)	JSFG00013
刊行者	***	刊行年月	***
備考		所蔵者	海上保安庁海洋情報部
番号	430	明治33年軍艦金剛南洋諸島及豪州航海報告 (めいじ33ねんぐんかんこんごう なんようしょう および ごうしゅうこうかいほうこく)	JSFG00015
刊行者	水路部	刊行年月	m33
備考		所蔵者	海上保安庁海洋情報部
番号	171	軍艦満州測量関係綴 (ぐんかんまんしゅうそくりょうかんけいつづり)	JSFG00016
刊行者	水路部	刊行年月	s05
備考		所蔵者	海上保安庁海洋情報部
番号	193	軍艦淀測量関係綴 (ぐんかんよどそくりょうかんけいつづり)	JSFG00017
刊行者	水路部	刊行年月	s11
備考		所蔵者	海上保安庁海洋情報部
番号	199	軍艦駒橋測量関係綴 (ぐんかんこまはしそくりょうかんけいつづり)	JSFG00018
刊行者	水路部第二部第三課	刊行年月	s11
備考		所蔵者	海上保安庁海洋情報部
<p>軍艦 駒橋 が本邦南方から南洋群島にかけてのかなり広い海域で実施した観測・測量(海流、採水、測温、海水処理、水色透明度、波浪観測、ウネリ、気象観測、測深等)に関する文書の綴りで、昭和14年9月から16年12月の行動命令書、任務行動予定、作業概要、任務・行動報告等の文書がある。なお、綴りの最後に次の2通の文書がある。①機密横須賀鎮守府命令第413號 昭和16年7月4日 横須賀鎮守府司令長官「駒橋艦長二命令 軍艦駒橋ハ昭和16年7月中旬ヨリ12月下旬迄本州南方海面並ニ南洋群島方面ノ観測及測量ニ従事スベシ」。②昭和16年12月24日横須賀鎮守府参謀長から駒橋艦長へ「観測及測量任務ニ關スル件申進 機密横須賀鎮守府命令第413號ニ依ル首題ノ件12月上旬以降之ヲ取り止メラル」。昭和16年12月8日の太平洋戦争の勃発により「軍艦駒橋」は、水路業務を取り止めて軍艦本来の任務につくことになった様である。</p>			
番号	200	軍艦勝力測量関係綴 (ぐんかんかつりきそくりょうかんけいつづり)	JSFG00019
刊行者	水路部	刊行年月	s11
備考		所蔵者	海上保安庁海洋情報部
番号	107	軍艦駒橋測量関係綴 (ぐんかんこまはしそくりょうかんけいつづり)	JSFG00020
刊行者	水路部	刊行年月	s12
備考		所蔵者	海上保安庁海洋情報部
番号	120	軍艦駒橋測量関係綴 (ぐんかんこまはしそくりょうかんけいつづり)	JSFG00021
刊行者	水路部	刊行年月	s13
備考		所蔵者	海上保安庁海洋情報部

番号	121	軍艦勝力測量関係綴 (ぐんかんかつりきそくりょうかんけいつづり)	JSFG00022
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s13	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	32	測量報告、その他関係書類綴 (そくりょうほうこく、そのたかんけいしよるいつづり)	JSFG00024
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t07	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	65	測量関係綴 (そくりょうかんけいつづり)	JSFG00025
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	92	測量関係綴 (そくりょうかんけいつづり)	JSFG00026
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t13	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	93	測量関係綴 (そくりょうかんけいつづり)	JSFG00027
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t14	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	164	日向礁に関する書類綴 (ひゅうがしょうにかんするしよるいつづり)	JSFG00028
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s02	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	170	朝鮮磁気測に関する書類綴 (ちょうせんじきそくにかんするしよるいつづり)	JSFG00029
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s05	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	169	艦主測量に関する関係綴 (かんしゅそくりょうにかんするかんけいつづり)	JSFG00030
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s05	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	99	葫蘆島事情 (ころとうじじょう)	JSFG00031
刊行者 備考	水路部 調査報告 (北支沿岸調査)	刊行年月 s07.01	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	177	満州国沿岸並河川ノ水路測量 (まんしゅうこくえんがんならびにかせんのすいろそくりょう)	JSFG00032
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s07	所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 62	磁気測量班関係書類 (じきそくりょうはんかんけいしよるい)	JSFG00033
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s07	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 184	松花江班測量関係綴 (まつはなえはんそくりょうかんけいつづり)	JSFG00034
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s08	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 185	満州国測量関係綴 (まんしゅうこくそくりょうかんけいつづり)	JSFG00035
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s08	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 94	測量観測関係綴 (そくりょうかんそくかんけいつづり)	JSFG00036
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s09	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 101	松花江班測量関係綴 (まつはなえはんそくりょうかんけいつづり)	JSFG00037
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s09	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 192	満州班測量関係綴 (まんしゅうはんそくりょうかんけいつづり)	JSFG00038
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s10	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 194	水深調査関係綴 (すいしんちょうさかんけいつづり)	JSFG00039
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s11	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 195	北支新南外国測量関係綴 (ほっぴししんなんがいこくそくりょうかんけいつづり)	JSFG00040
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s11	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 196	満州班測量関係綴 (まんしゅうはんそくりょうかんけいつづり)	JSFG00041
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s11	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 642	南洋班測量関係綴(第二課) (なんようはんそくりょうかんけいつづり(だい2か))	JSFG00042
刊行者 備考	水路部 刊行年月 s12 M2～S16	所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 51	朝鮮班測量関係綴 (ちょうせんはんそくりょうかんけいつづり)	JSFG00043
刊行者 備考	水路部 発行年月 s12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 52	第二測量隊関係綴 (だいにそくりょうたいかんけいつづり)	JSFG00044
刊行者 備考	水路部 発行年月 s12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 53	満州班測量関係綴 (まんしゅうはんそくりょうかんけいつづり)	JSFG00045
刊行者 備考	水路部 発行年月 s12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 112	寺島水道宇部班測量関係綴 (てらしますいどううべはんそくりょうかんけいつづり)	JSFG00046
刊行者 備考	水路部 発行年月 s12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 113	新南台湾班測量関係綴 (しんなんたいわんはんそくりょうかんけいつづり)	JSFG00047
刊行者 備考	水路部 発行年月 s12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 114	第四測量隊測量関係綴 (だいよんそくりょうたいそくりょうかんけいつづり)	JSFG00048
刊行者 備考	水路部 発行年月 s12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 636	揚子江方面測量隊関係綴(第二課) (ようすこうほうめんそくりょうたいかんけいつづり(だい2か))	JSFG00049
刊行者 備考	水路部 発行年月 s12 月頭報告など	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 116	海軍測量隊測量関係 (かいぐんそくりょうたいそくりょうかんけい)	JSFG00050
刊行者 備考	水路部 発行年月 s13	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 117	揚子江方面測量関係 (ようすこうほうめんそくりょうかんけい)	JSFG00051
刊行者 備考	水路部 発行年月 s13	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 118	支那水路事業関係 (しなすいろじぎょうかんけい)	JSFG00052
刊行者 備考	水路部 発行年月 s13	所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号	54	揚子江方面測量隊関係綴 (ようすこうほうめんそくりょうたいかんけいつづり)	JSFG00053
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s14	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	64	揚子江第二測量隊測量関係綴 (ようすこうだいにそくりょうたいそくりょうかんけいつづり)	JSFG00054
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s14	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	122	上海航路部関係綴 (しゃんはいこうろぶかんけいつづり)	JSFG00055
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s14	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	128	豊後水道測量関係綴 (ぶんごすいどうそくりょうかんけいつづり)	JSFG00056
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s15	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	130	昭和15年度測量関係 (しょうわ15ねんどそくりょうかんけい)	JSFG00057
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s15	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	130	昭和15年度測量関係 (しょうわ15ねんどそくりょうかんけい)	JSFG00058
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s15	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	59	内地測量関係 (ないちそくりょうかんけい)	JSFG00059
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s16	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	60	三河湾師崎水道付近改測綴 (みかわわんもろさきすいどうふきんかいそくつづり)	JSFG00060
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s17~s18	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	69	津軽班関係 (つがるはんかんけい)	JSFG00061
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s17	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	148	犬吠沖沈船調査関係 (いぬぼうおきちんせんちょうさかんけい)	JSFG00062
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s18	所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号	149	航測関係綴 (一) (こうそくかんけいつづり (1))	JSFG00063
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s19	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	149	航測関係綴 (二) (こうそくかんけいつづり (2))	JSFG00064
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s19	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	149	航測関係綴 (補) (こうそくかんけいつづり (ほ))	JSFG00065
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s19	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	188	高層気象関係綴 (こうそうきしょうかんけいつづり)	JSFG00066
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s08	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	131	下関潮流測関係綴 (しものせきちょうりゅうかんけいつづり)	JSFG00067
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s15	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	132	第1、第2海洋関係 (だい1、だい2かいようかんけい)	JSFG00068
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s15	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	56	第1、第2海洋関係 (だいいち、だいにかいようかんけい)	JSFG00069
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s16	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	301	水路部作業計画 (昭和10年度) (すいろぶさぎょうけいかく (しょうわ10ねんど))	JSFG00070
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s10	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	302	水路部作業計画 (昭和11年度) (すいろぶさぎょうけいかく (しょうわ11ねんど))	JSFG00071
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s11	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	303	水路部作業計画 (昭和12年度) (すいろぶさぎょうけいかく (しょうわ12ねんど))	JSFG00072
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号	304	水路部作業計画(昭和13年度)(すいろぶさぎょうけいかく(しょうわ13ねんど))	JSFG00073
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s13	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	305	水路部作業計画(昭和14年度)(すいろぶさぎょうけいかく(しょうわ14ねんど))	JSFG00074
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s14	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	306	水路部作業計画(昭和15年度)(すいろぶさぎょうけいかく(しょうわ15ねんど))	JSFG00075
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s15	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	307	水路部作業計画(昭和16年度)(すいろぶさぎょうけいかく(しょうわ16ねんど))	JSFG00076
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s16	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	650	急速測量関係(第二分室)(きゅうそくそくりょうかんけい(だい2ぶんしつ))	JSFG00077
刊行者 備考	水路部 測量実施計画	刊行年月 s20	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	133	第36共同丸関係綴(だい36きょうどうまるかんけいつづり)	JSFG00078
刊行者 備考	***	刊行年月 ***	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	701	本邦基準経度改正竝に報告書に関する書類綴(ほんほうきじゅんけいどかいせいびょうほうこくしょにかんするしよるいつづり)	JSFG00079
刊行者 備考	***	刊行年月 ***	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	702	経緯度測量調査委員会書(けいいどそくりょうちょうさいいんかいしょ)	JSFG00080
刊行者 備考	***	刊行年月 ***	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号	45	要用書類綴(ようようしよるいつづり)	JSFG00081
刊行者 備考		刊行年月	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
	M31年以降		
番号	98	諸要書類綴(しよようしよるいつづり)	JSFG00082
刊行者 備考		刊行年月	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
	M21年以降		

番号 43	廻達録 (かいたつろく)		JSFG00083
刊行者 備考	水路部	刊行年月 m26	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 47-1	廻達録 (かいたつろく)		JSFG00084
刊行者 備考	水路部	刊行年月 m42	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 47-2	廻達録 (かいたつろく)		JSFG00085
刊行者 備考	水路部	刊行年月 m43	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 31	要用書類綴 (ようようしよるいつづり)		JSFG00086
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t04	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 33	航路標識設置に関する書類綴 (陸軍軍隊軍需品揚陸港湾用) (こうろひょうしき せっちにかんするしよるいつづり (りくぐんぐんたいぐんじゅひんようりくこうわんよ		JSFG00087
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t09	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 30	測量関係書類綴 (樺太測量班) (そくりょうかんけいしよるいつづり (からふとそく りょうはん))		JSFG00088
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t08	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 800	測量報告其他関係書類 (そくりょうほうこくそのほかかんけいしよるい)		JSFG00089
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t14	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 36	要用綴 (ようようつづり)		JSFG00090
刊行者 備考	水路部	刊行年月 t14	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 231	海図記載法決定簿 (かいずきさいほうけっていぼ)		JSFG00091
刊行者 備考	水路部	刊行年月 m40.12	所蔵者 海上保安庁海洋情報部
番号 305	S14年度水路部作業計画 (秘) (S14ねんすいろぶさぎょうけいかく(ひ))		JSFG00092
刊行者 備考	水路部	刊行年月 s14	所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号	447	海洋気象観測心得 (かいようきしょうかんそくこころえ)	JSFG00093
刊行者 備考	水路部	刊行年月	s08.03
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号	814	水路報告 (すいろほうこく)	JSFG00094
刊行者 備考		刊行年月	
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号		暴風報知書類 (ぼうふうほうちしよるい)	JSFG00095
刊行者 備考	海軍省水路局	刊行年月	m13.10
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号		測候報告 (そっこうほうこく)	JSFG00096
刊行者 備考	海軍省水路局 観象台	刊行年月	m18
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号		小笠原嶋記 上 (おがさわらじまきじょう じょう)	JSFG00097_
刊行者 備考	*** 1861	刊行年月	文久01
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号		小笠原嶋記 中 (おがさわらじまきじょう ちゅう)	JSFG00097_
刊行者 備考	***	刊行年月	文久01
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号		小笠原嶋記 下 (おがさわらじまきじょう げ)	JSFG00097_
刊行者 備考	***	刊行年月	文久01
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号		府県港湾調 (ふけんこうわんちょう)	JSFG00098
刊行者 備考	海軍省水路寮	刊行年月	m06
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号		測量日誌(山陰北陸 両道測量日誌) (そくりょうにっし さんいんほくりいく りよ とうどうそくりょうにっし)	JSFG00099_
刊行者 備考	海軍省水路寮	刊行年月	m8.2
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		
番号		測量日誌(利根口盤津迄 測量日誌) (そくりょうにっし とねこうばんつまで そ くりょうにっし)	JSFG00099_
刊行者 備考		刊行年月	
所蔵者	海上保安庁海洋情報部		

番号 大日本沿海経緯度羅針差潮候時干満差立表 (だいにっぽんえんかいけいいどらしんさちようこうじかんまんさりっぴょう) JSFG00100

刊行者 海軍省水路寮 刊行年月 m06.11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 雑録 (ざつろく) JSFG00102

刊行者 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 第32号 m05年分

番号 日本輿地新增行程に大全 (にほんよちしんぞうこうていにだいぜん) JSFG00103

刊行者 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 大日本輿地便覧 (だいにっぽんよちびんらん) JSFG00104

刊行者 *** 刊行年月 天保05.05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 松月堂 津藩 松居 山崎義故

番号 * 観象台沿革 (かんしょうだいえんかく) JSFG00105

刊行者 海軍水路部観象台 刊行年月 m19.12 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 観象室

観象台の歴史を順次に記載してある。
明治6年創業、当初は六分儀のみ、その後風雨計・温湿度計など順次に整備。
明治7年7月観象台落成し水路寮管轄となる。9月金星日面経過測量のため、米・仏・墨3国の天文学士来日、米人は長崎・仏人は長崎及び神戸・墨人は横浜に観測所を設置、水路寮は観象台と神戸麻耶山にて観測。
12月から翌年1月にかけて、柳部長・米人ダビソン天文学士と東京一長崎間の経差を電測。ダビソン士は、金星経過測量に併せ、長崎一ウラジオストクの経差も電測した。
明治8年1月海軍始めの際、柳部長観象台の経緯度を奉聞する。7月英国・米国から観測機器到着。
明治9年1月「気象略表第一号」を発刊、4月開拓使の依頼により青森の経差を電測、6月「羅鍼鉄差」を刊行
英国水路局発行本の翻訳、9月「可搬子午儀・アストロノミカルクロックなど独国より到着。
10月・11月 静岡の経度及び観象台の緯度を測定。
明治10年5月「観象台雑誌第一号」を発刊など。以後明治19年末まで、特記事項を掲載している。
(和紙綴り冊子)

番号 * 金星試験顛末 (きんせいしけんてんまつ) JSFG00106

刊行者 水路寮 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 m06.08~08.03

明治6年5月頃から「明治7年金星日面通過観測」を日本で実施するために関係した往復書簡・電報、辞令、特記事項が時系列で記載されている。
関係した国、米国・仏国・墨国
明治7年12月9日 午前11時0分30秒から金星日面通過観測 約30分。
なお、米国人星学家チットマンによる観象台～長崎間の電線を使用した経度測定についての文書類も掲載されている。
以後、明治8年3月中旬まで、出張報告など公文が綴じられている。
金星日面通過日の観測体制
海軍観象台担当 試験総括 海軍少佐 伴 鐵太郎、観象鏡 海軍大尉 中村 雄飛
経緯儀 海軍大尉 青木 住真、観星儀 海軍中尉 吉田 重親 ほか

番号 55 軍艦駒橋関係綴 (ぐんかんこまはしかんけいつづり) JSFJ00001

刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 57 特務艦宗谷関係綴 (とくむかんそうやかんけいつづり) JSFJ00002

刊行者 水路部第二部第三課 刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

特務艦 宗谷 が実施した測量に関する文書の綴りで、昭和15年5月から昭和16年9月にかけての測量の月次報告、任務報告、浅所の発見その精測、測深儀の性能試験、人員・物件輸送に関する等の文書がある。
水路部第二部第三課:水路測量の計画及び実施、測量原図調製、磁気の調査研究、測量術の研究、測量艇及び器材を担当する課

番号 58 特務艦白沙関係綴 昭和16年度 (とくむかんしろさかんけいつづり) JSFJ00003

刊行者 水路部第三課 刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

昭和15年8月から16年3月までの特務艦白沙の行動に関する文書と昭和15年4月から10月に実施した渤海西部海岸測量の任務報告が綴られている。

番号 127 特務艦白沙関係綴 昭和15年度 (とくむかんしろさかんけいつづり) JSFJ00004

刊行者 水路部第三課 刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

日中戦争中の昭和15年4月から12月までの特務艦白沙の行動に関する文書が綴られている。内容は、行動の指示書、電報、月ごとの行動予定表、測量作業の現状報告、測量夫の雇入れ等の文書。4月から10月に実施した渤海西部海岸測量についての記録が多い。
渤海西部海岸測量は、河北省の塘沽から山東省の蓬萊にかけて海岸距離約400kmに及ぶ大規模な水路測量で、原点・基線・経緯度・岸線・地形測量、験潮及び潮流観測、地磁気測量、水路・航空路記事、地名調査、海象・気象観測等を実施して、1/20万を2図、1/10万を5図、1/3万を1図の測量原図を調製している。

番号 133 第36共同丸関係綴 (だい36きょうどうまるかんけいつづり) JSFJ00005

刊行者 *** 刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

昭和14年9月から昭和15年9月までの特務艦第36共同丸の測量月次報告が主に綴られている。測量区域は、海南島周辺海域で、第36共同丸及び測量班の行動作業の概要・予定・経過、測量・観測成果、第36共同丸及び測量艇の現状等が記載されている。厳しい戦況の合間の作業、台風の襲来の対応をしながらの作業等の苦勞も記載されている。

番号 134 富山丸関係綴 (とやままるかんけいつづり) JSFJ00006

刊行者 第二部第三課水深調 刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

昭和16年度の富山丸関係の資料綴り。その内容は、新人職員への測深・海上位置測定・海象気象観測等の教育訓練、作業実施計画、測量・観測(海象・気象)報告、資料・成果等についての文書が時系列順に綴られている。行動区域は、日本南方海域、ボルネオ周辺、オホーツク海、樺太東岸等である。英国航空機の飛来、米国潜水艦への警戒をしながらの困難な測量、観測をしたことも記載されている。

番号 137 軍艦勝力関係綴 (ぐんかんかつりきかんけいつづり) JSFJ00007

刊行者 第二部第三課 刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考 柳初代部長の記事あり

最初に軍艦勝力の要目表(竣工年月日、測量艦就役年月日、全長、排水量、速力、測深装置等)が、次いで昭和15年10月から昭和16年12月までの行動計画、測量・観測任務概報及び報告、諸資料・成果の提出、行動電報等が綴られている。行動区域は、北ボルネオ近海、マーシャル諸島等の遠距離で、その測深・観測範囲は200~500km×300~600kmと広い。熱帯の炎暑、荒天の中で音響測深儀の度々の故障・修理等のトラブルに対応しながら作業に当たった事も書かれている。最後の綴り、昭和17年1月3日付の南洋群島測量任務報告(昭和16年6月~昭和16年12月)の中で、「尚横須賀帰港ノ途次、聯合艦隊二出師大命下ルノ報ニ接スルヤ急遽帰投スルコトナリ」と記述されている。昭和16年12月8日の太平洋戦争の勃発で、「軍艦勝力」は、軍艦本来の任務に就くことになった様である。
柳初代部長の記事あり

番号 143 富山丸関係 (とやままるかんけい) JSFJ00008

刊行者 第二部第三課水深調 刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

昭和17年度の富山丸関係の文書が綴られている。実施した測量の資料を水路部宛てに送付した「原稿送達の件通知」、「音測資料提出」、測量・観測作業の経過をまとめた「作業報告」、富山丸の「行動電報」等である。昭和17年10月28日付き「作業報告」の中で「10月24日、09時15分右舷後方約3点、距離約800m付近に雷跡発見、左に転舵すると同時に船首10m付近を3本の魚雷通過危うく難を避く…」と書かれ、昭和17年11月22日付きの「作業報告」の中にも「11月9日、11日、18日にも敵潜水艦の潜在情報を受け、嚴重な見張りの下、観測続行」と書かれている。厳しい戦況の中、日本を遠く離れた海洋で、単独で行動しながら水路業務をひたすら実施した測量船の苦勞が偲ばれる。

リスト作成 2012年